※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和５度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ２（教育芸術社）						
副教材等	つどい（啓隆社）自主制作プリント　合唱楽譜等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の分野を通して学習します。
・学習の到達度は、学習の取り組み状況、実技における課題進度状況、ワークシート、創作曲、発表などを基に総合的に判断した上で決定します。また、成績が過去の音楽経験の有無によって大きく左右されることのないよう、授業における学習等達度によって評価します。
・合唱や合奏の発表を大きな目標として、みんなで音楽を創り上げる喜びを共感しましょう。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽。音楽文化と深くかかわる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

⑴　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり、及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

⑵　個性豊かに音楽表現に創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

⑶　主体的･協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の耐用性について理解を深めている。知識 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で個性豊かに表している。技能	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表すために意図表現を創意工夫したり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組み、音楽文化に親しもうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分の声を磨く	【歌唱】 発声法・呼吸法 日本、外国の歌曲	a:【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解している。【技】曲にふさわしい発声、姿勢や呼吸など、身体使う技能、言葉の特性を意識して歌う方法を身に付け、個性豊かに歌唱で表現している。 b:自分の声、楽曲のリズムや旋律を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感じ取り、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性に関心を持ち、主体的･協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏発表	演奏発表 振り返り レポート	観察 ワークシート
	ギターの伴奏法	【器楽・創作】 弾き語り ギターによる伴奏付け	a:【知】音の重なりによる響き、コードの種類、音型や構成上の特徴について理解している。【技】曲にふさわしいコード進行を選び、それによって生み出される表現上の効果を生かして演奏する技術を身に付けている。 b:ギターの音色、奏法との関わり、およびその関わりによって生み出される表現上の効果を工夫している。 c:ギターの伴奏法に関心を持ち、主体的・協働的に活動に取り組み、 音楽文化に親しもうとしている。	観察 ワークシート 演奏発表	演奏発表 振り返り レポート	観察 振り返り レポート

※令和４年度以降入学生用

2学期	第九にチャレンジ	【歌唱・鑑賞】 ベートーヴェン作曲 交響曲第 9 番ニ短調 Op.125 「合唱付き」　から第 4 楽章 『歓喜の歌』より 2 重フーガ部分	a:【知】2 つの主題について知り、音楽的な性格の違い、また表現上の効果について理解している。 【技】2 つの主題が重なる「2 重フーガ」を聴き分ける、また演奏するための技術を身に付けている。 b:音楽を形作っているフーガの要素やパート同士の関連を知覚し、「2 重フーガ」の美しさを味わって聴き、またどのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c: 自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考え、主体的・協働的に取り組み、音楽文化に親しもうとしている。	観察 ワークシート 演奏動画	演奏動画 振り返り レポート	観察 振り返り レポート
	ヴァイオリンにチャレンジ	【器楽】 ヴァイオリンの基本的な奏法 「きらきら星」	A:【知】基本的な奏法と音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方の技法を身につけている。 b:ヴァイオリン演奏に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って演奏を創意工夫している。 c:ヴァイオリンの音色と奏法に興味関心を持ち、主体的・協働的にヴァイオリンの学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏発表	演奏発表 振り返り レポート	観察 振り返り レポート

※令和４年度以降入学生用

3学期	ミュージカルを上演しよう	【歌唱・鑑賞】 独唱・合唱を生かしてミュージカルを作る	a：【知】ミュージカルの作品の構造や歌詞、文化的・歴史的背景意図の関わり及びそのかかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】ミュージカルを形作っているパートやその役割を知覚し、その働きを意識しながら、それらと調和させて演奏している。 b:表現意図にあった歌唱の技術を身につけ、ストーリーあわせ創造的に表現している。 登場人物の役割やパートによる音の重なり方、演奏者による表現を味わって聴いている。 c: ミュージカル作品のストーリーやナンバー、演出など作品を構成するものに興味を持ち、作品の上演と鑑賞にむけて主体的、協働的に取り組んでいる。	観察 ワークシート 演奏発表	演奏発表 振り返り レポート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度